

JAZZ IN GRETSCH について

"寮長" 高橋修さん(1949年3月6日～2022年1月19日)

高橋さんは愛媛県・今治市生まれ。少年の頃から洋楽が好きで、高校時代には地元のジャズ喫茶「マニアナ」などに通い、ジャズ喫茶でアルバイトをするようになった。

高橋さんにはボーイスカウトの時代があり、鼓笛隊で太鼓を叩いていた。この太鼓経験がドラムに向かうことになる。先輩が松山のキャバレーのバンドに入り、「お前も来ないか」と誘われた。19歳で松山に移り、ドラマーとしてキャバレーやダンスホールで演奏した。その後は岡山、福山(広島県)、東京などでドラムを叩き、三十歳前に松山に帰ってきた。

開店は1989年。店名はドラムなどを製造する楽器メーカー「グレッチ」から取った。

「キャバレーが消え、仕事がなくなった。生きていくためでもあったが、ジャズメンが育つ場所がなかった。演奏する場所を提供したいという気持ちが強かった」

田代俊一郎著『四国ジャズロード』(書肆侃侃房)より